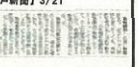
メディアも注目 ストップ・ザ・腎不全

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01　厚生労働省

【朝日新聞】4/22

【山陽新聞】4/7

【神戸新聞】3/21



慢性腎臓病（CKD）プレスセミナー

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01　厚生労働省

【日刊薬業】4/6

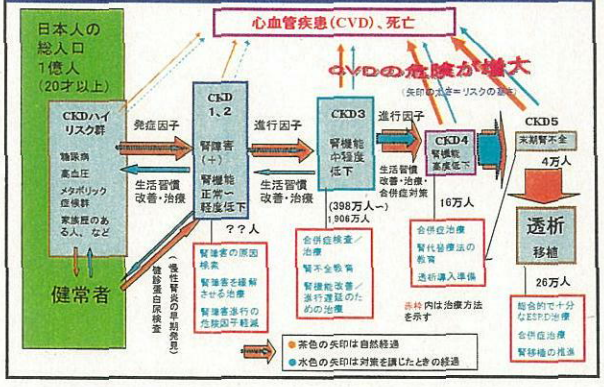
【Japan Medicine】4/6

CKD患者の予後と生活の質改善のための行動計画

- **社会、患者、保険者に対する行動計画**
  - A) 一般市民、患者、CKD対策に大きく影響を及ぼす分野の人たち、例えば経済学者や人口統計学者、さらには支払い側（保険者）など、代表的な団体等を対象に教育啓発キャンペーンを行う
  - B) CVDを含めた腎以外の臓器障害とCKDの関係を社会に広くアピールする
  - C) スクリーニング検査や慢性腎疾患が疑われる患者を評価するための単純明快な指針（診療ガイド）を作成して公表し、啓発活動をする
- **医療者（CKD医療を行う意思、コメディカル）に対する行動計画**
  - A) 多様な原因や進行段階にあるCKDの総合的マネジメントシステムの有効性に関する研究を行う
  - B) 腎機能の評価を標準化をめざして、GFR換算式などCKDの評価方法に関する統一的な手法を検査／健診機関や関連学会、団体などと共同して開発する
  - C) CKD患者を対象にCKDとESRD/CVDの関連について、観察研究及び介入研究を行い、自然歴や治療効果について継続的にデータを収集する
  - D) 必要な研究課題を設定するために、腎臓の枠を超えた学際的な組織を構築する
  - E) CKD克服のために活動しているすべてのグループや団体を結集し、組織する
  - F) 腎機能検査（特に推算GFR）の普及を進めるなど、検査室、医療提供者、社会に広くCKDの統一的な定義を受け入れてもらうための企画を立て実行する
- **行政、政府に対する行動計画**
  - A) 厚労省の健康政策の中に総合腎不全対策を中心的課題として設定するよう働きかけるとともに、地域単位でも健診などの施策にCKD対策を組み込ませる

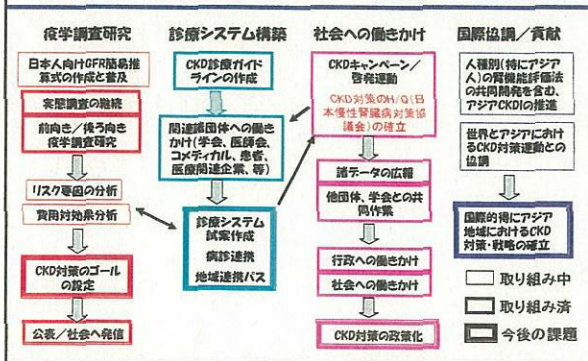
CKDの進行過程と対策

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01　厚生労働省



システムとしてのCKD対策のあり方：到達点と課題

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01　厚生労働省



CKDの地域医療連携の課題

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01　厚生労働省

1. 日本CKD対策協議会の基盤強化
2. 腎臓専門医とかかりつけ医との連携体制の構築と診療ツールの開発
3. 実態に即した地域連携パスの作成
4. 腎臓専門医の育成
5. 社会への啓発活動の強化・行政との連携
6. 医療政策への位置づけ：保険診療への組み込み
   特定検診における保健指導と受診勧告のあり方